夢の国日本

スロー社会の構築

自動介護システム

話題となっていた京都府南丹市の 11 歳男児の死亡は、どうやら父親に殺害されたらしいというニュースになっていますが、１億総マイカー時代スロー社会ではありえない話と考えています。

なぜなら、通勤通学は（低速自動運転車優先道路を設定しての）マイカーになり、ドア TO ドアの移動になります。

深夜早朝での移動も全く問題なく（交通安全と対犯罪安全）、何十キロ離れていても、寝ながらの移動やお気に入りのマイアバター（AI）との会話によるテレワークや受験勉強、ゲームや映画鑑賞等、家で部屋にこもって何かするよりも、はるかに充実した移動空間となります。

スロー社会ではゆっくりとした移動なので、ものごとが停滞すると考えがちですが、上述のごとく移動しながら何でもできるので、またマイアバター（AI）が海外を含め、種々の所（人）に自動でつなぎ、また自分の顔を整形して表示することを暗黙の了解化し、自動翻訳による会話が可能なのでむしろビジネスが加速します。国際交流も盛ん（誰でもが友達、異文化が理解されやすい）になり、平和維持にも貢献します。

実際、スロー社会ではどんな暮らしぶりになるか、熊本県の三角線赤瀬駅を題材にして、紹介します。
https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_31d16d1c95ed4e91b347cb9407a3f279.pdf
（↑NG の場合：「木造人工島」で検索し「ガーデンフィールド」の HP の画面にて、左上の「赤字路線解消」をクリックして下さい。）

また、スロー社会の概要は以下の URL をご参照下さい。
https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_5d5a27a363f74a69a7c99bc83ec6323b.pdf
（↑NG の場合：「木造人工島」で検索し「ガーデンフィールド」の HP にて、A4 程度をスクロール「スロー社会の構築」をクリックして下さい。）

市街地に住む家賃＝郊外に住む家賃＋家族分のマイカー（国の補助）＋α

――――――――――自動介護システム構築概要――――――――――

４月 15 日の朝日新聞の声欄「年を重ねても自分の居場所があるか」の表題で、とある看護師が「『私、ここにいてもいいのかな』。勤務をする特別養護老人ホームで、ある入居者がぽつりとつぶやいた。介護が必要になり、できないことが増えていくほど、居場所を失っていくのかもしれない。」と投稿をされていました。

さらに、「尊厳とは、自立していることでも、人の役に立つことでもない。その人がその人として、そこにいてもよいと認められることだ。」、「名前を呼ばれ、とりとめない思い出話に耳を傾けてもらい、『ありがとう』と言葉を交わす。そうした積み重ねが人の心を支える。できることを共に見つけることも、その人の尊厳を支える力になる。」とも言っておられます。

しかしながら、この投稿では、間接的に「親身になっていつも付き添う人がいた方がよい」と言っています。これでは家族や忙しい介護スタッフに大きな負担がかかってしまいます。

スロー社会では、必要とされる人には無償で「自動介護システム」の支給がされることを想定しています。

自動介護システムにより、国も地方も、個々の家庭も介護の負担から、財政的にも物理的にも解放され、大きな余裕が生まれ、高齢者が終末ぎりぎりまであちこち移動してお金を使うので、経済も活性化しますので、「自動介護システム」の無償支給に対しての十分なお釣りがくると考えています。

自動介護システムの無償支給＝介護負担の大幅減＋経済の活性化＋ビッグα

自動介護システムは、寝返り不要の極楽ベッド（その人の体形に合わせた低反発素材で受け＝宙に浮いているような感覚、腰部に穴が開いている）付帯、臭いのしない水洗トイレとロボットウォシュレット（AI がカメラで見て、種々の角度から温水をかける）付帯により、自分でトイレの感覚がなくとも、AI が常に監視し、常に腰部を清潔に保ってくれ、人によるおむつ交換やトイレ介助を排除してくれます。

また、自動介護システムは、AI が人との会話や表情をみて、病院やディサービス、あるいは行きたいところを汲み取って、行先のアポをとり、到着予定時刻を伝えた上で、どこにでも連れていってくれます。

記憶があいまいで、子供の頃によく遊びに行ったところに行きたい、「お寺があって・・・」「小川が流れていて・・・」「小学校も近くにあった・・・」等の断片的な曖昧な情報から、AI が履歴も含めて調べてくれて、また行きたい場所の画像を提示し（同意後）、行きたい場所に的確に連れて行ってくれます。

さらに自動介護システムは、好みのキャラ（若いころの母親、若い頃の恋人や配偶者あるいは憧れの映画スター等）の大画面のマイアバターが親身の話し相手になってくれる他、海外を含む任意の人と自動翻訳のテレビ電話で繋いでくれるので、また自分の顔を若返らせた上に整形をして相手に表示してくれるので、例えば、95 歳同士の見知らぬ男女が何かに共感し恋に落ちるようなことも起こると想定しています。（かって９０歳の宇野千代さんが恋をし続けていると、エッセイで告白していたことがありました。）

自動介護システム＝誰でもが終末まで誰気兼ねなく移動し楽しく暮らす、

自動介護システムのイメージは以下の URL の ANNEX-5 をご参照下さい。
https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_4bdb9ae07b9346f5a2c484551695cf59.pdf
（↑NG の場合：「木造人工島」で検索し「ガーデンフィールド」の HP にて、A4 程度をスクロール「マイアバターが運転する低速自動運転車」の「ボタン」をクリックして下さい。）

ユートピア日本

＜補足事項＞

６月２日の朝日新聞では、「小中学校　更なる統廃合　自治体に検討促す」の見出しにて、少子化に歯止めがかからない状況を踏まえ、文部科学省は公立小中学校の統廃合を検討するよう自治体に働き方を強めることを伝えています。

しかしながら、このままで自治体そのものの統廃合を含め、シュリンク社会（国力低下につながる）が増幅するだけですので、文部科学省様には「スロー社会の構築」により、「モード切替車」はすぐにできるので、まずは少子化と過疎化に歯止めをかけましょうと、強くお伝えをしたいと思います。

事故故障前提（100％安全）の低速自動運転と人が運転する「モード切替車」からはじめる「スロー社会構築」により、コストが安い田舎程住みやすくなります。全国の赤字路線は解消するどころか、今まで移動しない高齢者や障害者、幼い子供までもが 24 時間安全に移動するので、大幅な黒字になります。
また、過疎化や少子化に歯止めがかかり、誰でもが自動介護システムにより終末迄楽しく暮らすことができるようになります。

しかしながら、現状では全く意味のない、国力低下の要因であり、利権がらみの「自動運転のレベル４の実証実験」が全国で幅を利かせており、「スロー社会の構築」を頑なに拒んでおります。
以下の URL をご熟読され、ご賛同をされましたなら、「レベル４の実証実験の収束」及び「スロー社会構築」に関しまして、可能な何らかのご協力をいただけますと助かります。
https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_31d16d1c95ed4e91b347cb9407a3f279.pdf
（↑URL を見られない場合：「木造人工島」で検索し、「ガーデンフィールド」の HP の左上の、水色の背景の「赤字路線解消」をクリックして下さい。）

時間がかかりますが、スロー社会構築のご貢献度により、特許対価から莫大な寄付をさせていただきますので、ご連絡をお待ちしております。
（特許情報）
https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7595386

―――――――――――――― (深刻な日本の現状) ――――――――――――――

日本凋落の要因：「補助金バラマキ政策」「中国企業優遇」「AI 技術の遅れ」

（献金を受けての）個別企業への補助金は、高度成長時代ならまだしも、現在の成熟社会では、一企業や同業連合（ホンダと日産が合併したところで、むしろリストラ・縮小が加速するだけ）では、企業都合（培ってきた技術や設備の範疇を越えない）により、総合力を必要とする新規事業ができないので、無駄になり、むしろ企業の力を削いでいます。

例えば、NEC は日本を代表する企業で、30 年前は世界一の通信技術を所持しておりましたが、最近の凋落ぶりは目を覆うばかりです。５G の基地局を国から受注をしたもののその技術力はなく、韓国サムソン電子から技術を購入して対応しています。

また、パソコン事業を中国企業（レノボ）に売却しています。

河野太郎氏の主催の政府の再エネの打ち合わせでは、中国企業のロゴ入りの資料を使い、話題になったことがありますが、中国企業優遇政策により、日本の再エネ機器のほとんどが中国製となり、日立・東芝・パナソニック等の日本の有力企業が撤退・リストラを余儀なくされ、中国資本の日本企業が日本の山林を買いあさり、強引にメガソーラを設置し、熱海では土石流を発生させたり、釧路湿原の景観を損ねたり、各地で環境破壊を起こし住民のトラブルが絶えず、社会問題化しています。（それで高市総理が動き出されたと考えています。）

AI 技術の立ち遅れについて、中国では人より速いマラソンロボットや AI24 時間全自動の食堂、AI24 時間稼働の自動車工場「ダーク工場」ができて おり、また開発・製造・技術サービスにおいて、AI が浸透しており、日本は自動車産業だけでなく、中国に各種産業で負け、多くの分野で日本市場を奪われ、日本は縮小し続けています。（中国の AI 技術の取得特許件数を 100 とすると日本は 1 程度）

日本が AI 技術で挽回するには、（資格やコネではなく）世界中から AI 技術の特許を取得できる、天才的な人材を高給で集めるしかなく「国立 AI 研究所」の設立が急務です。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_76c4a35d8a7a472e8656bb5025cc2fe6.pdf

国力 UP のため、スロー社会構築と国立 AI 研究所の設立にご尽力を賜りたく、なにとぞよろしくお願い致します。